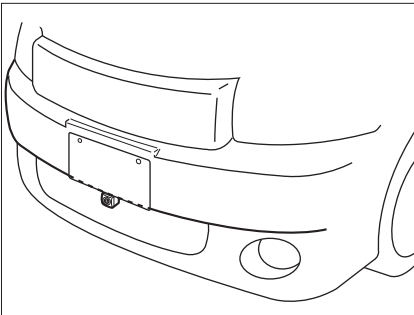


〈カメラブラケットを使用して、カメラを取り付ける場合〉

1 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決める。

フロントバンパーへの取り付け例



- カメラ取り付け位置の確認をする
カメラを取り付け金具・取り付け台に取り付け、車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や車両部品にあたらぬことを確認してください。
取り付け位置に凸凹がなく平らな面であること、カメラ取り付け台の接着面が全て接着できること、付属の六角レンチで角度調整用特殊ネジ(両側)の締め付けができることを確認してください。

注意

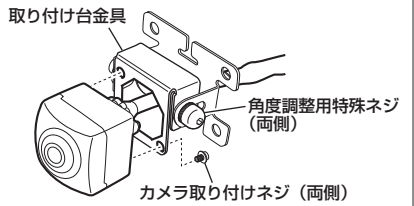
- カメラがナンバープレートより前方に出ないように取り付けてください。
- カメラブラケットはエアロパーツの下には取り付けられません。
- カメラはなるべく車の中心にくるように取り付けてください。
左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- カメラが車両の幅、車両の長さをはみ出さない位置を探し、ナンバープレートに掛からないことを確認してください。

Memo

- カメラブラケット取り付け位置は、なるべくナンバープレートの下になるようにしてください。
- カメラ映像にナンバーが映らない位置になるように位置を調整してください。
(「3. 確認する」参照)

2 カメラとカメラブラケットを組み立てる。

カメラの取り付け



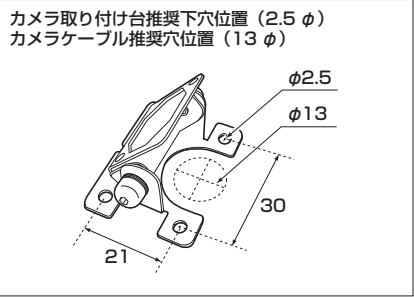
- 取り付け金具とカメラ取り付け台を付属の六角レンチを使い角度調整用特殊ネジで図のように取付けます。
- カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具とのおす。
・ALPINE ロゴがついている側が上になります。
- 取り付け台金具にカメラ取り付けネジでカメラを固定する。

Memo

- ケーブルをとす際はカメラ本体を落下したり、ぶついたりしないよう注意してください。

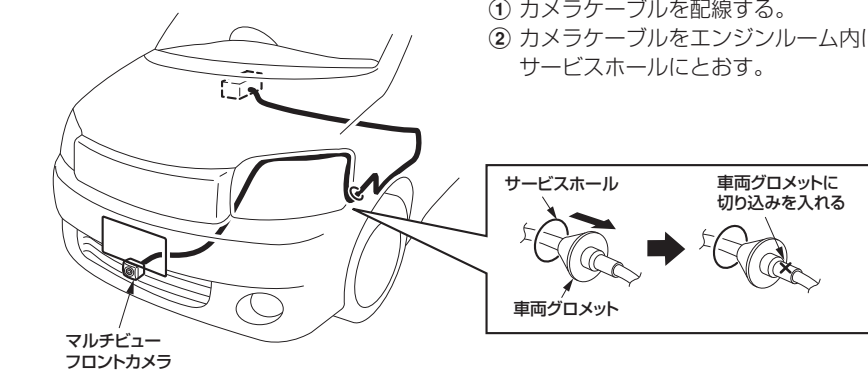
3 カメラブラケットを車体に取り付ける。

ケーブル下穴開け



- カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。
- カメラの角度を調整する。
はじめに、カメラを車両進行方向に対して真正面を向くように調整する。
その後、カメラを地面に対して約30度下を向くように調整する。
- カメラ取り付け部に、カメラケーブル配線用の下穴(φ13)をドリルで開ける。
また、必要に応じて、カメラ取り付け台固定用ネジの下穴(φ2.5)も開ける。
・金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面および周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り、十分に乾燥させてください。
- 取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス(市販品)で拭き取る。
- カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中に送る。
- カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。
必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。

4 カメラケーブルを配線する。



- カメラケーブルを配線する。
- カメラケーブルをエンジンルーム内に取り込みサービスホールにとおす。

Memo

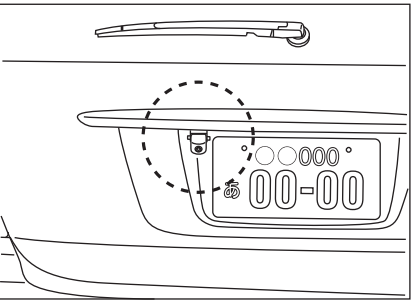
- ケーブルの配線の際は、発熱部を避けて配線を行ってください。

2.2 マルチビュー リアカメラ (HCE-C250RD) を取り付け

〈リアガーニッシュにカメラを取り付ける場合〉

1 取り付け例を参照して、カメラ・取り付け台が車体へ干渉しないことを確認してから取り付け位置を決めてください。

リアガーニッシュへの取り付け例



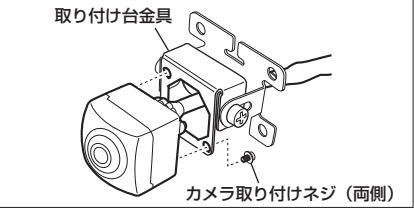
- カメラ取り付け位置の確認をする
カメラを取り付け金具・取り付け台に取り付け、車両の取り付けたい位置に合わせてカメラの角度調整を行い、カメラが車両や車両部品にあたらぬことを確認してください。
取り付け位置に凸凹がなく平らな面であること、カメラ取り付け台の接着面が全て接着できること、角度調整ネジ(両側)の締め付けができることを確認してください。

注意

- カメラはナンバープレートにからないように取り付けてください。
- カメラはなるべくガーニッシュの中心にくるように取り付けてください。
左右に大きくずれて取り付けるとイメージと見え方が異なる場合があります。
- バックドアやトランクの開閉時にカメラや、ケーブルがあたらぬことを確認してください。

2 カメラとカメラブラケットを組み立てる。

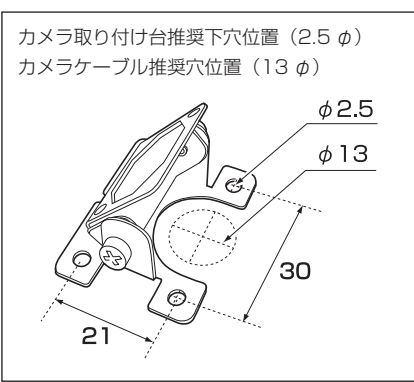
カメラの取り付け



- 取り付け金具とカメラ取り付け台を角度調整ネジを使用して図のように取付けます。
- カメラの上下を確認し、カメラケーブルをブラケットの取り付け金具とのおす。
・ALPINE ロゴがついている側が上になります。
- 取り付け台金具にカメラ取り付けネジでカメラを固定する。

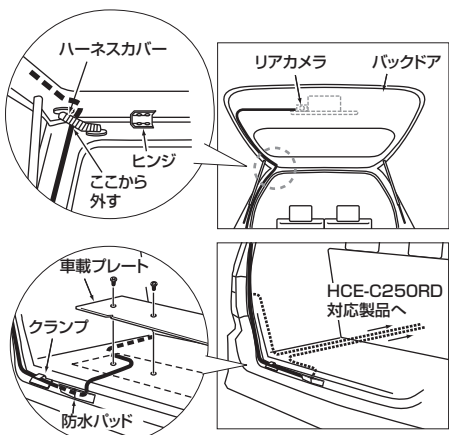
3 カメラブラケットを車体に取り付ける。

ケーブル下穴開け



- カメラブラケットを取り付けるおおよその位置を決める。
- カメラの角度を調整する。
はじめに、カメラを車両進行方向に対して真後ろを向くように調整する。
その後、カメラを地面に対して約30度下を向くように調整する。
- カメラ取り付け部に、ケーブル配線用の下穴(φ13)をドリルで開ける。
また、必要に応じて、カメラ取り付け固定用ネジの下穴(φ2.5)も開ける。
・金属に穴あけ加工を行った場合、加工穴の断面および周辺にタッチアップペイントをしっかりと塗り、十分に乾燥させてください。
- 取り付け面の汚れやほこりをクリーニングクロス(別売)で拭き取る。
- カメラケーブルを開けた穴に通し、ケーブルを車体中に送る。
- カメラケーブルを通した穴は、防水テープ(市販品)やシーリング剤(市販品)で、しっかりと防水を行ってください。
- カメラブラケットの接着テープ保護紙をはがし、カメラブラケットを車体に取り付ける。
必要に応じて、カメラブラケットを取り付け台固定用タッピングネジで固定する。

4 カメラケーブルを配線する。



- カメラケーブルを配線する。
- 雨が入らないように防水パッドやランプで配線する。

Memo

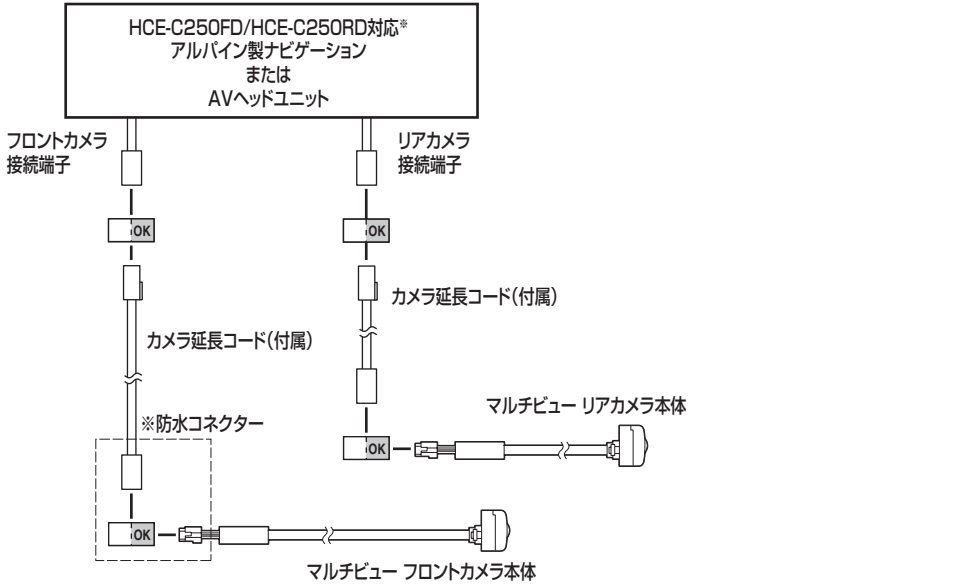
- ケーブルの配線の際は、突起部や金属の縁などにあたらないように取り回してください。
- カメラコードのコネクターとカメラ延長コードのコネクター接続は、必ず車室内で行ってください。

5 接続する。

注意

正しい接続をする。
正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。
接続については、HCE-C250FDまたはHCE-C250RD対応製品の取付説明書を参照し、必ずフロントカメラ接続端子またはリアカメラ接続端子に接続してください。

● 基本接続図

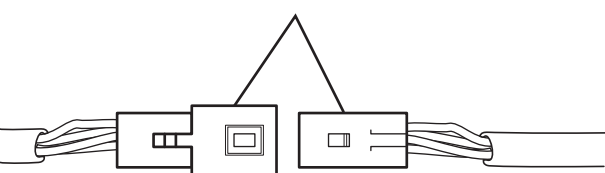


- HCE-C250FD/HCE-C250RD対応以外の製品に取り付ける場合は、別売のKCX-C200B (HCE-C200シリーズ用電源BOX)が必要です。
取り付けについては、別売のKCX-C200Bの取扱説明書をご覧ください。
HCE-C250FD/HCE-C250RD対応製品については、インフォメーションセンターへお問い合わせいただくか、アルパインホームページ(<http://www.alpine.co.jp/>)でご確認ください。

Memo

※ 防水コネクターはしっかりと接続してください。防水コネクターを外す場合は、マ イナスドライバー等を用いて外してください。

防水コネクター



3. 確認する

1 コード類を固定する。

カメラケーブルの配線、固定
付属のコードクランプでケーブルを止めながら配線を行う。
コードクランプ貼り付け部はクリーニングクロス(市販品)でクリーニングする。
カメラコードを車室内に引き込む際は
・ ヒンジ等に飲み込まないように引き回す。
・ ヒンジ・ケーブルカバーの外側を通す。
・ 車体のゴムシール部は付属の防水ゴムと両面テープを使い図のように引き回す。
※ 配線終了後はトランク/バックドアの開閉を何度か行い、ケーブルの挟み込み、こすれ、つぶれがないことを確認する。

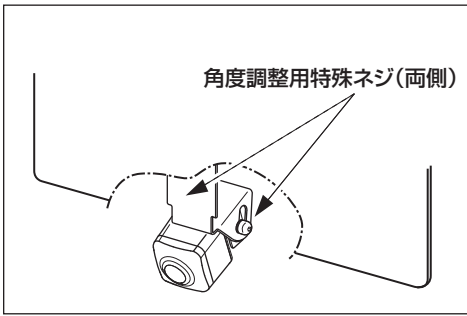
2 モニターやナビゲーション等、カメラ取り付けのために外した製品を元に戻してから、バッテリーマイナス端子を接続する。

3 エンジンキーを ON にして、組み合わせる製品の取扱説明書を参考に本機の動作が正しいことを確認する。

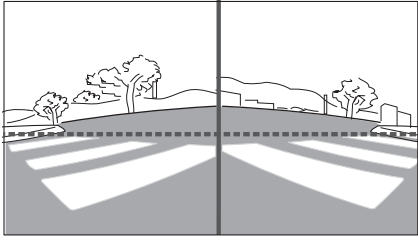
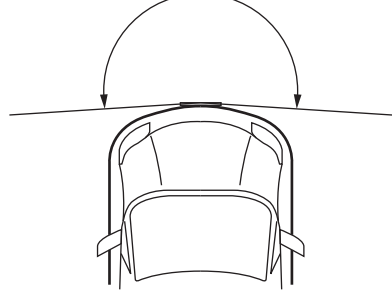
4 カメラの角度を調整する。

■ マルチビュー フロントカメラ (HCE-C250FD) の場合

カメラの取り付け



180°

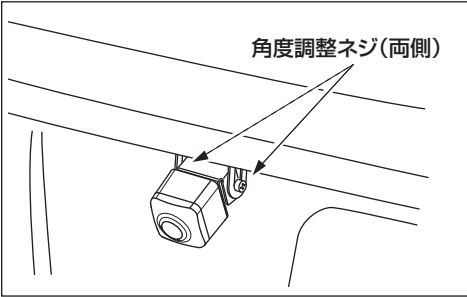


注意

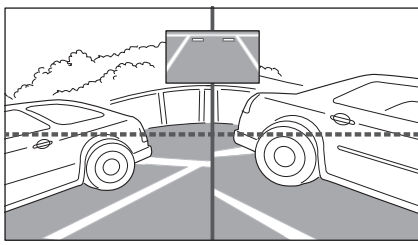
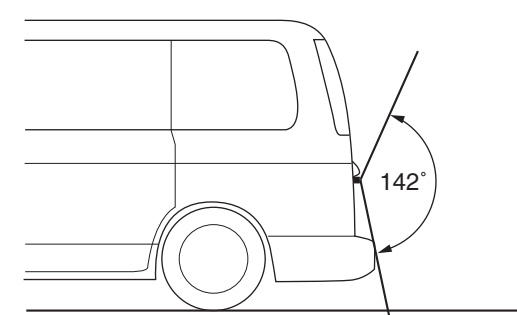
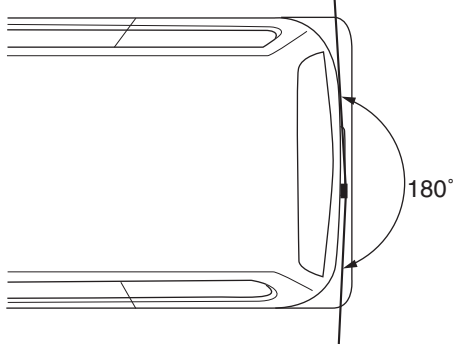
- カメラの角度を調整するときは、必ずエンジンキーをOFFにし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動く事故の原因となります。

■ マルチビュー リアカメラ (HCE-C250RD) の場合

カメラの取り付け



- 車を水平な場所へ停車する。
- カメラ取り付け台の角度調整ネジを緩め、カメラの角度を調整する。
- イグニッションキーをONにして、シフトレバーをリバース(R)に入れるか、またはディスプレイ上の **リアカメラ** にタッチしリアカメラ映像を見ながらカメラの角度を確認する。(コーナービューにしたとき路面がほぼ水平になるくらいが目安です。)
- 取り付け台のはがれに注意して、角度調整ネジをしっかり締め付ける。



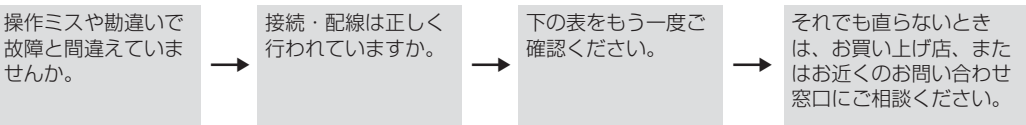
注意

- カメラの角度を調整するときは、必ずエンジンキーをOFFにし、サイドブレーキを確実に引いて行ってください。車両が動く事故の原因となります。

5 ホーン(クラクション)、ストップランプなどの車両電装品が正しく動作することを確認する。

その他

故障かな?と思ったら



カメラの映像が出ないなど正常に動作しなくなった場合は、操作にもとづいてもう一度操作しなおしてください。それでも正常に動作しないときは、下表を参照して処理を行ってください。

故障かな? (症状)	お答えします。(原因)
カメラの映像が出ない。(カメラ以外の映像は正常)	
エンジンキーが ON 以外の位置になっている。	⇒ エンジンキーを ON の位置にしてください。
正しく接続されていない。	⇒ 本取扱説明書を参照して正しく接続されているか確認する。
本機が接続されている製品のリバース線が接続されていない。	⇒ 本機が接続されている製品の取扱説明書を参照してリバース線を接続してください。
カメラの映像が正常でない。(カメラ以外の映像は正常)	
ディスプレイの画面がちらつく。	⇒ 蛍光灯などで照らされた場所を映した場合、ディスプレイの画面がちらつくことがあります故障ではありません。
次のようなとき画面が見えにくくなりますが、カメラの特性で故障ではありません。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体付近の温度が高温のとき
画面が見えにくい。	⇒ 暗いところを映したとき、部分的に明るい光を映したとき、カメラ本体部分の温度が高温のとき、画面が見えにくくなりますがカメラの特性で故障ではありません。
カメラの映像がゆれる。	⇒ 取り付け台がはがれていないか、角度調整ネジが緩んでいる。
カメラの映像が不鮮明。	⇒ カメラのレンズが汚れている場合は柔らかい布に水を含ませて軽くレンズを拭いてください。
画面に白線(光の縦線)が出る。	⇒ 太陽光を直接映したり、強い光(ボディからの反射やヘッドライト等)が入った場合、光源の上下に明るい縦線が現れることがあります(スミア現象)。→故障ではありません。
他	
ラジオにノイズが入る。	⇒ シフトレバーがリバース時にラジオにノイズが入るときは、カメラのケーブル、ビデオ接続コードを車両のワイヤーハーネス・ラジオのアンテナ・アンテナ機より離してください。